

# 平成30年度 企画管理部長「政策宣言」達成状況

企画管理部長 島 木 康 太

## ○ 平成30年度重要事業

事業名	行財政改革の推進
目 標	第3次行財政改革集中改革プランに掲げた取組の進行管理を徹底するとともに、公共施設等総合管理計画に基づく施設の再編方針の策定や統一的な基準に基づく使用料・手数料の適正化など、着実に行財政改革を進めます。
年度末達成状況	第3次集中改革プランについては、平成30年度改訂版を公表しました。現在、推進期間（平成26－30年度）である5年間の実績報告書作成の最終段階です。また、公共施設再編方針（案）を公表したほか、使用料・手数料の適正化についても市議会での議決を得ましたので、本年4月から新料金での運用を開始します。
自己評価	当初目標のとおり、行財政改革を推進する各種取組を実行することができました。引き続き、健全で持続可能な行財政基盤の堅持に向け、行財政改革を積極的に進めてまいります。

事業名	射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進
目 標	人口減少の克服と地域活性化による地方創生を図るため、射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた各種施策を着実に実施するとともに、その効果について客観的な指標による検証・評価・改善を行います。
年度末達成状況	射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会を開催し、平成29年度の進捗状況について、検証・評価を行いました。 また、県が公表した平成30年の人口移動調査によると、市の総人口は減少しているものの、転入者数から転出者数を差し引いた社会動態では63名の転入超過となり、3年ぶりにプラスとなりました。
自己評価	数値目標及び重要業績評価指標は、おおむね順調に進捗しています。引き続き、地方創生の実現に向け、総合戦略に掲げた施策を着実に実施してまいります。

事業名	庁舎跡地利活用事業の推進
目 標	旧新湊庁舎跡地利活用については、賑わい創出及び活性化に資するエリアとなるよう、施設機能や配置等について関係団体等と協議を進めます。
年度末達成状況	複合交流施設については、市が単独で入居する平屋建ての当初案から、商工会議所、射水ケーブルネットワーク(株)及び市の3者が入居する2階建ての施設に変更し、宿泊施設の進出も見据えた施設配置としました。また、関係団体との協議や先進地の視察等を通じて、具体的なソフト事業を検討しました。

自己評価	施設案の変更やソフト事業の検討により、予定どおり事業の具現化を図ることができました。引き続き、複合交流施設と内川周辺エリアとの連携による賑わい創出を目指してまいります。
------	--